



2020年10月某日

差枚

-2820枚

RANK

C

実戦機種

サンダーVライトニング、SLOTまどか新編、ニューパルサーデラックス、ハナビ ほか

実戦レポート

どうにも煮え切らない、苦しい、腑に落ちない戦いが続いている中、矢継ぎ早に訪れた10月の4戦目。ノーマルタイプに行こうかな、どうしようかな...でもやっぱやめた！→ノーマルタイプがめっちゃ出た、というお決まりのパターンを喰らった3戦目の悔しさが拭えていなかったオレは、「9番」という好位置での入店から一目散にノーマルタイプコーナーへと向かったのだった。狙いは、このコーナーで一番の新入りとなる「サンダーVライトニング」。これを難なくキープして打ち始めようと一万円札を投入したらサンドがエラーを起こして思わぬタイムロスを取ったり、その修理が終わるまで誰一人として残りのサンダーVライトニングを打とうとするお客さんは居らず拍子抜けする、などというイレギュラーはあったものの、とにかく実戦スタートだ。

すると、通常時からカウントできる設定推測要素の「ベル出現率」がいきなりロケットスタートをかまし、最初に当たったボーナスはBIGよりも設定差の大きいREG。その持ちメダルでもう一度当たって、REG。おおっと、なかなか良い滑り出しじゃないか。...BIGが全く当たらないことを除いて、な。5号機のノーマルタイプに比べて通常時のベースが高いとはいえ、そこは完全無欠のノーマルタイプ。BIGを引かなければメダルは増えようがないのである！

こうなると判断が難しくなるのがノーマルタイプの弱点。たまたまREGをポンポンと早めに引けただけじゃないか？ ベル確率もだんだん落ちてきたし、ただの「朝だけ高設定挙動」だったんじゃないか？ そんなことを考えているうちに2枚目の一万円札が吸い込まれ、いよいよ「これでいいのか？」の疑念が鎌首をもたげてきた。今回の高設定投入パターンは、常連によれば「3台並んで高設定が入っている箇所がいくつかあるんじゃないか」とのこと。ならば隣のサンダーは...うむ、全然良くはないな。よし、移動だ！

で、やってきた「SLOTまどか新編」では、もう毎度恒例となりつつある直撃ATを引き、何だか高設定っぽく見える挙動に他のお客さんも「おっ、高設定はここか？」と色めき立って一気に空き台が埋まるも、結局オレがハマりを喰らって最初に脱落。ってか、前回オレが打った番長3が今日こそガッツリ出てるんだが...このパターンももうお腹一杯だわ!!

そこからはもう、ちょっと出てる台があれば「ここかも...」つつって隣の空き台を打つてみたり、バラエティコーナーで目立った台が無いと見れば「この辺りにあるかも...」つつって誰も居ないところを攻めたり、完全に無能な軍隊が全滅する時のソレ。実はサンダーVがやっぱり高設定だったとか、そんなのはどうでもいいんです。久々の大負けでC級だっ!!